

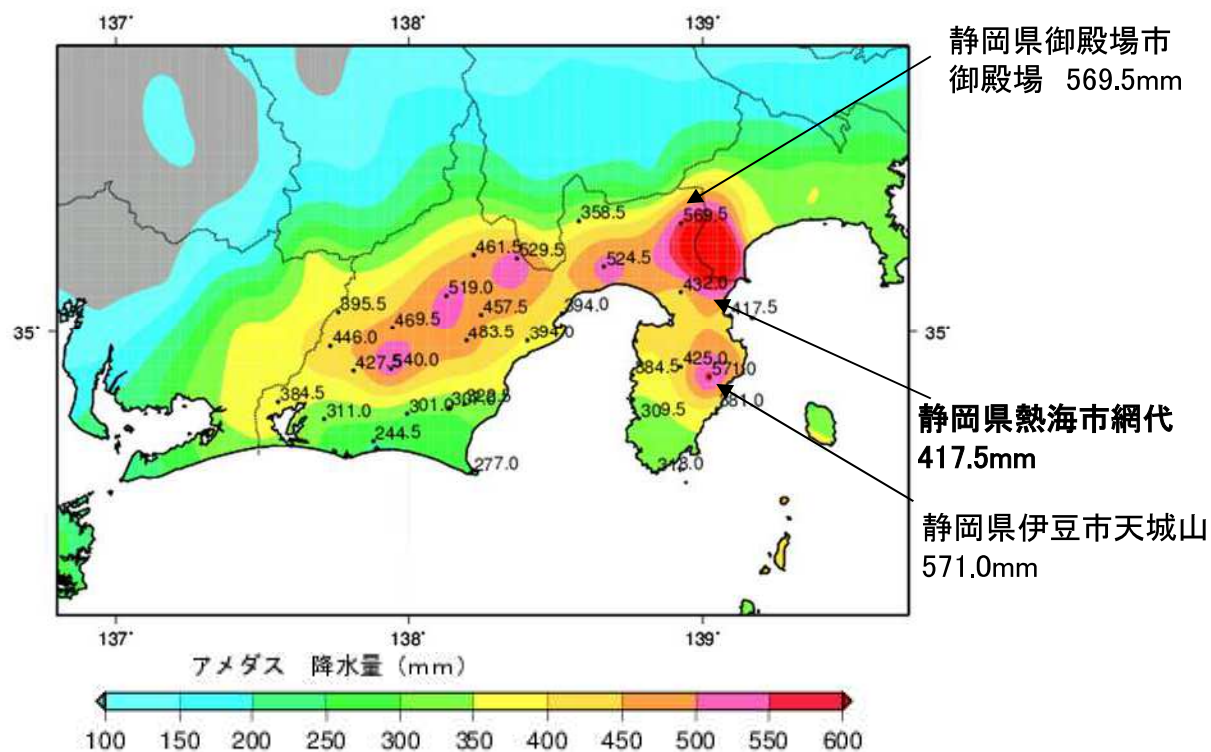
令和3年7月3日に静岡県熱海市で発生した土砂災害への対応

6月末から梅雨前線が北上し、西日本から東日本に停滞した。前線に向かって暖かく湿った空気が次々と流れ込み、大気の状態が非常に不安定となったため、東海地方から関東地方南部を中心に記録的な大雨となった。

数日間にわたって断続的に雨が降り続き、静岡県の複数の地点で72時間降水量の観測史上1位の値を更新するなど、記録的な大雨となった。

この大雨により静岡県熱海市で土石流が発生したほか、河川の増水や低地の浸水が発生した。

静岡地方気象台は、土砂災害による応急復旧活動を支援するため、7月3日19時にJETT（気象庁防災対応支援チーム）を派遣し、東京管区気象台からの応援と合わせ、8月31日まで気象解説を実施した。また7月7日に臨時観測所（熱海伊豆山）を設置し、雨や気温などによる二次災害を防ぐための観測データとして提供している。



期間降水量分布図（6月30日18時～7月5日00時）



熱海市災害対策本部での気象解説



熱海市に臨時観測所を設置（熱海伊豆山）

令和3年10月7日 千葉県北西部を震源とする地震(最大震度5強)



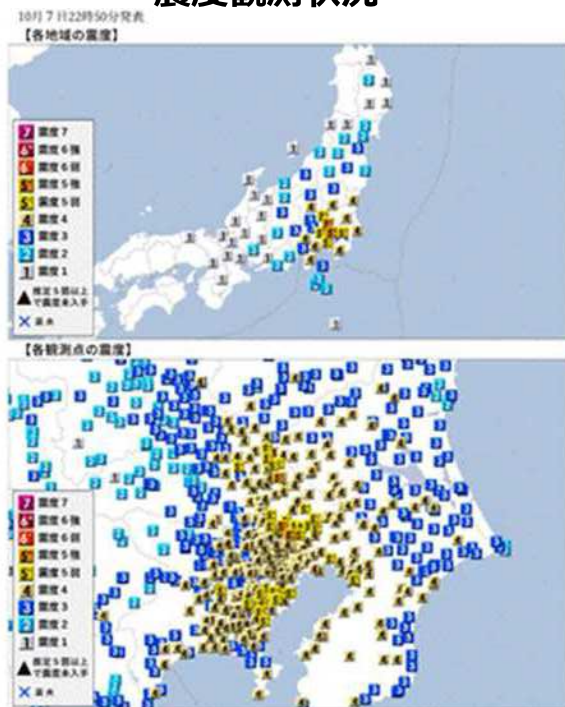
【地震の概要】

10月7日22時41分 千葉県北西部を震源とするマグニチュード5.9（暫定値）の地震が発生し、埼玉県川口市・宮代町・東京都足立区、合計3つの市区で最大震度5強を観測したほか、東北地方から近畿地方にかけて震度5弱から1を観測。この地震に対し、地震波検知から3.7秒後の22時41分38.5秒に緊急地震速報（警報）を発表。

【東京管区気象台の対応】

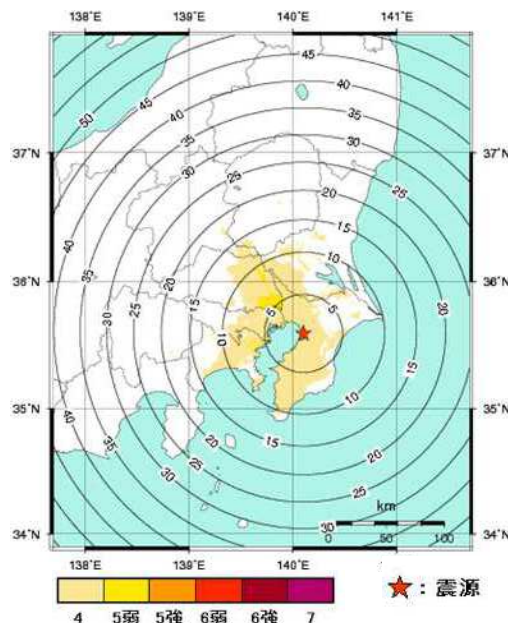
- 10月8日 地方公共団体の防災対応を支援するため、JETT（気象庁防災対応支援チーム）を東京都庁に派遣。
地震発生後の防災上の留意事項について説明。
- 10月8日 最大震度5強を観測した震度観測点の観測環境や震度観測点周辺の被害状況を調査するため、気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し、緊急に現地調査を実施。
→震度観測点の観測環境に異常は認められず、観測点周辺に目立った被害は確認されなかった。

震度観測状況



緊急地震速報（警報）の発表

緊急地震速報第1報提供から主要動到達までの時間及び推計震度分布図



地震の概要

発生時刻	10月7日22時41分
マグニチュード	5.9（暫定値）
場所及び深さ	千葉県北西部 深さ75km
発震機構	東西方向に圧力軸を持つ逆断層型
震度	最大震度5強

関東防災連絡会への情報提供

関東防災連絡会メーリングリストで情報を共有

10/8 00:36 第1報 体制の共有（非常体制）及び記者会見時刻の連絡

10/8 01:15 第2報 報道発表資料の共有（ホームページへのリンクのみ）

地方自治体担当者を対象とした気象防災ワークショップの実施



- ◆ 地元気象台から発表される防災気象情報に基づく地方公共団体の防災対応を疑似体験
- ◆ 各種防災気象情報の理解や有効活用、体制の強化や避難情報に関する検討を行うことにより防災対応力の向上を目指す
- ◆ コロナ禍を踏まえ、オンライン会議システムを活用し、東京都の協力もいただきながら今年度中に全市区町村での実施を目指す

気象防災ワークショッププログラムの概要

避難情報・防災気象情報

警報レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
6	災害発生又は切迫	命の危険 速ちに安全確保！	緊急安全確保
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況変化	警報への避難行動の決定	大雨、洪水、高潮注意報 （注意報）
1	気象状況変化 注意のため	災害への心構えと準備	大雨、洪水、高潮予報 （予報）



グループワークで
災害対応を疑似体験

防災気象情報の
理解・活用（読み解き）



内閣府「避難情報に関する
ガイドライン」に基づく解説

ガイドラインを気象状況
などに当てはめて具体的
に考えることによる
実践力の育成

多様な参加者の中での
議論による相互連携の
醸成と新たな気づき



画像：梶岡博氏提供



オンラインによる実施例

関東地方整備局等と連携した雪に対する注意喚起



- ◆ 大雪に対して不要不急の外出を控えること、最新の気象状況・交通状況への注意喚起等を国民に呼びかけることを目的とし、関東地方整備局、関東運輸局、道路事業者（NEXCO東日本・中日本・首都高速道路）等との連名で、記者発表を実施。
- ◆ 令和3年度は「道路利用者への呼びかけ」として連名の記者発表を8回実施（12/16・23・28, 1/5・12, 2/4・8・12）大雪に対する連名の緊急発表を2回実施（2/9・13）



記者発表資料 南岸低気圧に伴う積雪・路面凍結にご留意ください ～道路利用者の皆様への呼びかけ～

関東地方では、6日(木)の昼前から夜のはじめ頃にかけて雪や雨が降り、関東地方南部で積雪となる所があるでしょう。

5日(水)18時から6日(木)18時までに予想される24時間降雪量は、関東地方南部の平地で1センチ、山地で3センチの見込みです。なお、東京23区でもうすうす積もる所があるでしょう。

普段は雪が降らない平野部においても、突如の降雪による立ち往生や踏破凍結によるスリップ等にご留意ください。また、最新の気象情報や道路状況を確認し、積雪がある場合はできるだけ不要不急の外出は控えるとともに、冬用タイヤまたはチェーンを装着し、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いいたします。

- ドライバーの皆様には、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着の徹底をお願いします。また、降雪状況により、雪中除雪による通行止めやチェーン規制を実施する場合があります。広域迂回の実施や、通行ミートの見直しなどのご協力をお願いします。
- 短期間の集中的な大雪時には、集中的な除雪を行い大規模な車両滞留を回避するために、高速道路と並行する国道等が併走通行止めとなる場合があります。その際は、不要不急の外出は控えるとともに、やむを得ず運転する場合には、事前に最新の道路情報を確認の上お出かけ下さい。
- 高速道路は全ての区間で状況により通行止めを行う場合があります。
- 大型車で雪道を運転する場合は、必ずチェーンの装着をお願いします。冬用タイヤを装着していても、新雪や縦断勾配の大きな箇所等ではスタックする事象が多発しています。
- 昨冬の大雪の際には、大型車の立ち往生が主な原因となり、甚大な影響が生じています。国土交通省では、冬タイヤの未装着等により事業用自動車に立ち往生した場合、悪質な事象については、監査を実施したうえで、適切な措置が不十分と判断されれば、当該事業者の行政処分を行うこととしています。事業用自動車運送事業者の皆様も、冬タイヤの装着、チェーンの携行及び早めの装着を徹底するとともに、タイヤの摩耗劣化にも十分に注意して下さい。



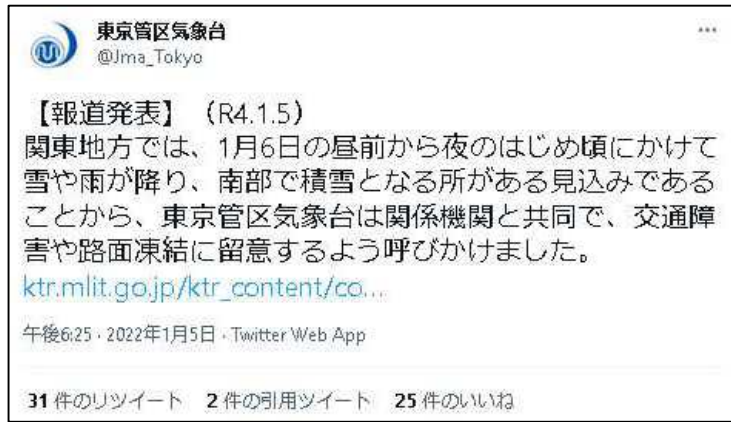
南岸低気圧による積雪・路面凍結に対する道路利用者への呼びかけ（令和4年1月5日）



1月6日の降雪、積雪の状況（東京都千代田区）



2月9日の緊急発表（記者会見）（関東地方整備局）



東京管区気象台Twitterでツイート

東京管区気象台の情報発信～twitterの活用～



東京管区気象台では令和3年7月29日にTwitterの公式アカウントを開設し、防災に関する取組や防災知識として役立つ情報等を発信しています。



【地域防災の推進】

東京管区気象台は、12月9日に葛飾区を訪問し、区長との懇談と防災担当者との打合せを行いました。大雨等の緊急時に円滑な防災対応が図れるよう、引き続き連携を強化してまいります。

葛飾区 @katsushika_city - 2021年12月9日

洪水を引き起こすような大雨が予測された場合の対応について、区と気象庁とで事前に確認しておくために、気象庁東京管区気象台の気象防災部長らの表敬訪問を受けました。
#葛飾 #気象庁

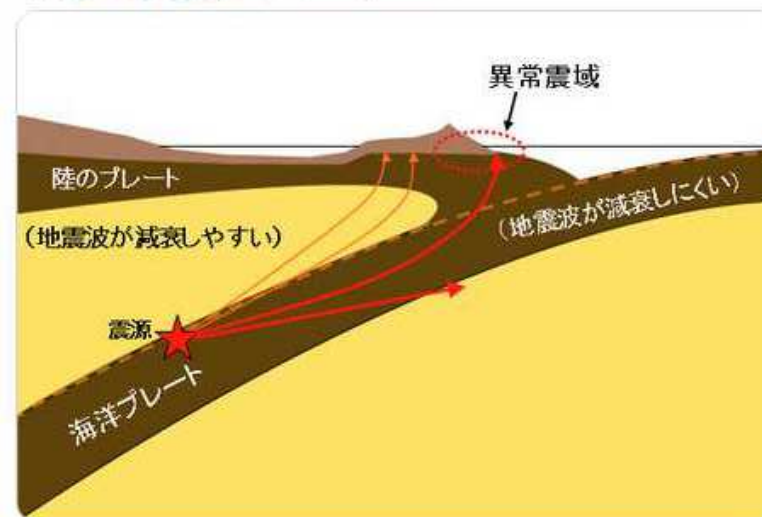


午前10:50 · 2021年12月10日 · Twitter Web App



【異常震域】

9月14日7時46分ごろ、東海道南方沖の深さ約450kmを震源とする地震が発生し、関東地方で震度3を観測しました。震源が深い地震では、プレートの内部を地震波が伝わることにより、震源から離れた場所で震度が大きくなることもあり、これを「異常震域」といいます。
jma.go.jp/jma/kishou/kno...



午後1:13 · 2021年9月14日 · Twitter Web App

東京管区気象台Twitterアカウント : https://twitter.com/Jma_Tokyo